

No.651 (改題611号)
2024年
9月11日(水)

新社会兵庫



週刊 新社会

発行所: 新社会党
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三成工業ビル3F
TEL. 03(6380)9960 FAX. 03(6380)9963

新社会党兵庫県本部 神戸市中央区中山手通5丁目2-3 ☎078(361)3613 FAX078(361)3614 毎月第2、第4水曜日発行 購読料月400円(1部200円)郵便振替:01120-7-16805

ひょうご

碑

81

物語

内藤利八は、1856年(安政3年)、播磨姫路藩領神東郡、のちの川辺村(神崎郡川辺村を経て、現市川町)生まれの政治家及び実業家。漢学、英語、政治学を修め、1873年(明治6年)、18歳にして川辺村戸長に就任。1881年(明治14年)に兵庫県議員に当選。1890年(明治23年)には第一回衆議院議員総選挙で当選し、以降、衆議院議員を通算5期のほか、姫路水力電気各社長、姫路商業銀行監査役などを務めた。

播但鉄道(現JR播但線)の発起人の一人でもあり、1894年(明治27年)には姫路から寺前間が開通し、その後、社

甘地駅下車すべし。甘地駅から碑までの約100m

長に就任した。当時、馬車を引いていた馬力や沿線の人たちの反対があったが、完成後は、「銀の馬車道」による輸送から鉄道輸送に切り替わり、播但地域の近代化に大きな功績を残したと言われている。2021年は内藤利八没後100年となり、内藤利八の記念切手も発売された。(森山)

【メモ】JR播但線・甘地駅下車すべし。甘地駅から碑までの約100m

の間には、姫路の版画家・岩田健三郎氏のユニークな作品が立ち並び、内藤利八氏の紹介や発行

の機能の喪失、③樹木の伐採や環境の変化、④プールやサブグラウンドなどがなくされ、生徒や子どもたちの居場所の喪失、⑤行政主導・市民不在などの5点を指摘し、今後裁判闘争と住民運動を車の両輪として取り組んでいくことを強調した。代理人の針原祥次弁護士からは、法律上の観点から裁判の争点などについてのかみくだいた解説

播但鉄道(現JR播但線)の発起人の一人の内藤利八を顕彰する碑が播但線・甘地駅前に建つ



内藤利八氏顕彰碑

(神崎郡市川町)

違法な計画決定の取り消しを 住民らが神戸市を提訴

王子公園 再整備計画



神戸市を相手取った行政訴訟の提訴のために神戸地裁に向かう原告の住民ら=8月28日

神戸市は今年5月、王子公園の区域約3・5畝を公園から除外して関学に売却するために必要な

提訴後の記者会見 神戸市役所内

王子公園は、スポーツ施設や景観・環境も含めた「市民の居場所」として、さらに阪神・淡路大震災で経験したように防災拠点としての大きな機能と意義を持っている。これをなくしてまで関学の誘致がそれ以上に特別に必要な公益性のあるものなのかが、今後争われる。

この日、午後1時に神戸市役所内

「PFAS汚染と健康を考える兵庫連絡会」が主催する、「あなたの水は大丈夫?」発がん性のPFASから身を守るために」と題したPFAS学習会が8月22日、神戸市内で開かれた。

超の参加者 PFAS汚染と健康を考える兵庫連絡会

都市公園法に違反

王子公園の再整備計画をめぐる、神戸市が関西学院大学誘致のために公園の一部を都市公園区域から除外し、別の地区計画の決定処分を行ったのは都市計画法の趣旨に反するとして、この変更処分の取り消しを求める行政訴訟を周辺住民5人が8月28日、神戸地裁に提訴した。原告らは2021年末の突然の再整備案の発表以来、2年8カ月にわたり、市民不在の再整備計画の白紙撤回を求め、「王子公園・市民ミーティング」実行委員会という市民団体に結集しながら、さまざまな活動を積み重ねてきたが、市民の声を全く聴き入れようとしない神戸市の姿勢の前に今回の提訴に踏み切った。

都市計画法上の手続きを強行した。今回の訴訟は直接的にはこの変更処分の取り消しを求めるものであり、原告らは、この変更処分は、「公益上特別の必要がある場合」などを除き、「区域の全部、または一部について都市公園を廃止してはならない」とする都市公園法(16条)に違反するものと主張している。

王子公園は、スポーツ施設や景観・環境も含めた「市民の居場所」として、さらに阪神・淡路大震災で経験したように防災拠点としての大きな機能と意義を持っている。これをなくしてまで関学の誘致がそれ以上に特別に必要な公益性のあるものなのかが、今後争われる。

同日、午後2時から神戸市役所内で記者発表を行った。原告を代表して「王子公園・市民ミーティング」実行委員会代表の小林みずさんが、これまでの運動の取り組みや提訴に至った経過などを述べ、この間浮かびあがった再整備計画の問題点として、①スポーツ諸施設の廃止と都市公園面積の減少、②防災拠点として

の機能の喪失、③樹木の伐採や環境の変化、④プールやサブグラウンドなどがなくされ、生徒や子どもたちの居場所の喪失、⑤行政主導・市民不在などの5点を指摘し、今後裁判闘争と住民運動を車の両輪として取り組んでいくことを強調した。代理人の針原祥次弁護士からは、法律上の観点から裁判の争点などについてのかみくだいた解説

も行われた。同実行委員会では裁判費用も含めた活動資金のカンパをクラウドファンディングも利用して呼びかけている。

梅雨明け以降の雨が近辺ほとんど雨は無し。おかげで公園の花壇への水遣りがすっかり日課になってしまった。花壇にはオリブの樹が数本、まばらに青い実をつけている。オリブを見て思い浮かべるのは、ガザ・パレスチナのこと。神戸でこそホースを水道栓に繋ぎさえすれば水の心配はないが、イスラエルに水源を完全に支配されているパレスチナではどうなんだろう。農民たちはオリブを枯らさず、戦火のなか多少なりとも収穫できるのだろうか。農民だけではない。ガザの漁民たちも操業は沖合3キロに制限されて漁獲はあがらず、2キロを過ぎるとイスラエル艦艇からの警告に続く射撃だ。農業・漁業は市民の食料を賄えず、人びとは国際支援物資でいのちを繋いでいる。包囲されたガザは外に働きに行くこともままならず、電気や飲み水にも事欠き、衛生状況は最悪。子どもたちはボリオ蔓延の危険にさらされている。▼まもなく10月7日から1年が経つ。日本を含むG7などの国際社会は未だにイスラエルの「自衛権」云々で、本気に戦争とジェノサイドをとめようとまではしていない。11月29日は国連がパレスチナの分割を決議した日。この日何か自分にも出来ることはないか、考えている。



クラウドファンディング用のQRコード



PFAS問題に取り組む丸尾まき県議(左)とパット・エルダーさん(中央)が講師を務めた=8月22日、神戸市・中央区文化センター

丸尾まき県議(左)とパット・エルダーさん(中央)が講師を務めた=8月22日、神戸市・中央区文化センター

斎藤知事が初の証人尋問 知事は頑なにパワハラ否定

兵庫県議会・百条委員会 8.30



知事への尋問がネット中継されるのを議員がモニターで見守る

斎藤知事らのパワハラ疑惑などを内部告発する元西播磨県民局長の告発文書をめぐり県議会に設けられた百条委員会が8月30日に開かれ、斎藤知事本人が初めて証人尋問

に立った。この間、斎藤知事の辞職を求める県民の声は一段と高まり、当初はこの日に県民の行動も呼びかけられていたが、台風10号によるリスクを考慮して行動は中止となった。

それでも県民の関心は高く、30席の傍聴券を求めて100人近くが抽選を行った。

百条委員会が約9700人の県職員を対象にしたアンケートも期限までに約7割の回答があり、8月23日には4568通の中間集約が公表された。パワハラについては4割

弱が知事のパワハラ疑惑を見聞きしたと答えており、新たな疑惑も浮かび上がっている。30日は、これらの証言なども含めてパワハラ問題を中心に尋問が行われたが、具体的な事案について、多くは「覚えていない」とし、記憶があるというものについては「業務上の必要な指導だった」と、パワハラは頑なに否定し続けた。

また、告発者の処分については「今でも適正だ」と思っている」と聞き直された。さらに、自らの進退をめぐっては、事後の記者会見でもこれまでと変わりなく「県政を前に進めていく」という言葉で辞職を強否定した。

こうした状況で、県会では今後、不信決議案の提出が焦点化されていくことになるが、ひょうご県民連合がすでに提出を表明しており、他の党派や各会派間の交渉の動向が注目されていく。



二宮厚美さんが講演

二宮厚美さんが講演 第21回総会と記念講演会を開催

有事法制に反対するネットワーク東播磨

有事法制に反対するネットワーク東播磨は8月25日、第21回総会と記念講演会を加古川市内で開催した。

記念講演は、二宮厚美さん(神戸大学名誉教授)が「政権交代と世論のなかの日本」とのテーマで行った(写真)。以下は、講演の一部を紹介。

世論調査ではいま、国民世論の多数が野党が政権に就くことを望んでいる。これは一般的な政権交代ではなく、野党に政権交代を期待したものだ。画期的なことだ。しかし、野党が頑張ったことがなかったわけではない。岸田政権の失政と裏金問題などの影響で内閣支持率が1割台まで落ち込んだ。こうなったら野党が直ちに選挙に持ち込んで、と期待したいが、残念ながら

世論はそこまで盛り上がっていない。これは野党第一党の立憲民主党の責任だ。同党は野党を取りまとめる能力がない。2017年から19年にわたって盛り上がった野党共闘。市民連合と立憲野党は5項目の政策で合意した。これを実践していけばよかったが、そうはならなかった。

維新推薦の斎藤兵庫県知事の問題は、維新の評判を崩している。大阪では維新は大阪万博、IRなど、まともな政策は何もない。また、維新は野党を分断している。新しい野党共闘が必要になっている。

大阪の新社会党の人に会って「なぜ社民党と合流しないのか」と聞くと「社会主義を捨てた党とは合流できない」と言っていた。ヨーロッパでも右翼が伸張してきているが、社会主義野党の一部では台頭している。

自分の考えをしっかりと持つことが大切だ。若者を説得できるような理論を持ち交流することが大事だ。——こう講演を締めくくった。(藤井)

法制に反対するネットワーク第21回総会・記念講演会

法制に反対するネットワーク第21回総会・記念講演会

法制に反対するネットワーク第21回総会・記念講演会

法制に反対するネットワーク第21回総会・記念講演会

7月下旬からコメ不足が大きな社会問題になっている。スーパーのコメ売場がカラっぽになって騒ぎが起きたり、銘柄によっては5キの無洗米が千数百円に値上がりしたとの報道もある。そうしたなか、安全・安心な食料の提供に力を注いでいる「有(有)び(有)る」は、コメの追加注文の問い合わせの対応に追われるなか、価格の動向に神経をとがらしている。また、食料支援に取り組みフードバンク関係者は、「食料の提供を契約している複数の民間会社からのコメの提供が7月からゼロになったとして、行政などに支援強化を求めている。コープこうべは、8月から各店舗でコメの購入制限を始め、宅配注文は抽選にすると発表している。アマゾンも即配できるのはタイ米のみとしている。

東北の農家からの報告では、田植えが始まるころから業者がコメを求めてひっきりなしに訪れるようになり、提示してくる買い取り価格も去年より大幅に高いものだった」という。この時点で農家が感じ取ったのは、「業者はコメ不足の深刻化は不可避と読んでの行動ではなかった

たか」ということだった。今回のコメ不足は、直接的には異常気象によって2022年産米から今年にかけて新潟などを中心に減収に転じたことや、ウクライナ戦争による小麦価格の高騰、外国人旅行者の急増でコメの消費が拡大したことなどが要因として指摘されている。

政府は「今回のコメ不足は一時的なもので、新米が市場に出る9月下旬には解消する」と断言する。7月の衆参の農水省部会では、「今

60年の「所得倍増計画」では、「10年間で農業人口を30%減らし工業部門へ振り向ける」とした。こうした流れを受けて、農業の憲法とされる「農業基本法」が1961年に制定される。この法律は、貿易自由化推進のために、自動車や電機など経済成長の花形である輸出産業を下支えする産業の一部として農業を位置付けた。輸出産業の推進のために農業をはじめ第一次産業に犠牲を強いてきた。同時に国は、大都市経済を優先し合理性を重

私は、今こそ農業・農村の再生に資金を投入し、農村地域の整備拡充に取り組み、自給率の大幅引き上げに力を注ぐこと。さらに、戸別所得保障をはじめとする家族農業施策の充実、遺伝子組み換え種子(F1)の使用制限・排除と有機農業の推進、地産地消運動の展開などに力を注ぐべきだと考える。

ウクライナ戦争やガザでのジェノサイド、地球温暖化などによって、世界の飢餓人口は8億2800万人に達している(WHO発表)。仮にコメが余って困るのであれば、食糧難にあえぐ国や地域への援助に回せばよい。コメの生産が活性化すれば、休耕地は減少し、かつての緑豊かな農村風景が蘇る。

「街中で育った友達は稲の代わりに植えたコスモスの咲き誇る風景を見て、綺麗!と感動するが、私には悲しい風景でしかない。私にとっては、見渡す限り続く稲田の光景こそが幸せの光景です——これは稲作農家で育った友人が減反でコメ作りが大きく制限されたころ、思わず吐露した言葉だ。

米作を中心とする農業は、食糧生産の役割のほかに貯水機能や洪水防止、多様な生き物を育むなど多面的な機能を持っている。緑豊かな農村と農業の維持・発展を願ってやまない。

鍋島浩一(兵庫県農業問題懇話会) (8月28日記)

今こそ農業政策の転換を

後コメの消費量は減り続ける」とし、コメの増産の必要性はないとの認識を示している。けれども、高騰しているコメ価格への対応策は示されていない。政府は人びとの暮らしをどう守るのか、明らかにすべきだ。今こそコメ政策の転換に踏み出す時ではないのか。

ともあれ、こうした事態を招いたのは、一貫してコメの消費は減るものとして2018年まで50年以上にわたって実施してきた減反政策にある。1957年の新長期経済計画で農業者を6年で5%減らす計画を策定。19

視する社会システムの構築に力を注いだ。その結果が中山間地の過疎化と高齢化であり、37%という最低の自給率だ。

自公政権は今年、この農業基本法の「改正」を強行した。これは「食料安全保障を前面に押し出し、輸入途絶など不測の事態に備え、コメ・麦の増産や作付け転換の強制を可能にするもので、例えば強制的に花農家にイモを作らせることもできる、まさに「戦時食料法」そのものだ。農業の再生や食の安全にどう取り組みかといった発想はむしろない。

門永三枝子

私の主張

7月下旬からコメ不足が大きな社会問題になっている。スーパーのコメ売場がカラっぽになって騒ぎが起きたり、銘柄によっては5キの無洗米が千数百円に値上がりしたとの報道もある。そうしたなか、安全・安心な食料の提供に力を注いでいる「有(有)び(有)る」は、コメの追加注文の問い合わせの対応に追われるなか、価格の動向に神経をとがらしている。また、食料支援に取り組みフードバンク関係者は、「食料の提供を契約している複数の民間会社からのコメの提供が7月からゼロになったとして、行政などに支援強化を求めている。コープこうべは、8月から各店舗でコメの購入制限を始め、宅配注文は抽選にすると発表している。アマゾンも即配できるのはタイ米のみとしている。

東北の農家からの報告では、田植えが始まるころから業者がコメを求めてひっきりなしに訪れるようになり、提示してくる買い取り価格も去年より大幅に高いものだった」という。この時点で農家が感じ取ったのは、「業者はコメ不足の深刻化は不可避と読んでの行動ではなかった

たか」ということだった。今回のコメ不足は、直接的には異常気象によって2022年産米から今年にかけて新潟などを中心に減収に転じたことや、ウクライナ戦争による小麦価格の高騰、外国人旅行者の急増でコメの消費が拡大したことなどが要因として指摘されている。

政府は「今回のコメ不足は一時的なもので、新米が市場に出る9月下旬には解消する」と断言する。7月の衆参の農水省部会では、「今

60年の「所得倍増計画」では、「10年間で農業人口を30%減らし工業部門へ振り向ける」とした。こうした流れを受けて、農業の憲法とされる「農業基本法」が1961年に制定される。この法律は、貿易自由化推進のために、自動車や電機など経済成長の花形である輸出産業を下支えする産業の一部として農業を位置付けた。輸出産業の推進のために農業をはじめ第一次産業に犠牲を強いてきた。同時に国は、大都市経済を優先し合理性を重

私は、今こそ農業・農村の再生に資金を投入し、農村地域の整備拡充に取り組み、自給率の大幅引き上げに力を注ぐこと。さらに、戸別所得保障をはじめとする家族農業施策の充実、遺伝子組み換え種子(F1)の使用制限・排除と有機農業の推進、地産地消運動の展開などに力を注ぐべきだと考える。

ウクライナ戦争やガザでのジェノサイド、地球温暖化などによって、世界の飢餓人口は8億2800万人に達している(WHO発表)。仮にコメが余って困るのであれば、食糧難にあえぐ国や地域への援助に回せばよい。コメの生産が活性化すれば、休耕地は減少し、かつての緑豊かな農村風景が蘇る。

「街中で育った友達は稲の代わりに植えたコスモスの咲き誇る風景を見て、綺麗!と感動するが、私には悲しい風景でしかない。私にとっては、見渡す限り続く稲田の光景こそが幸せの光景です——これは稲作農家で育った友人が減反でコメ作りが大きく制限されたころ、思わず吐露した言葉だ。

米作を中心とする農業は、食糧生産の役割のほかに貯水機能や洪水防止、多様な生き物を育むなど多面的な機能を持っている。緑豊かな農村と農業の維持・発展を願ってやまない。

鍋島浩一(兵庫県農業問題懇話会) (8月28日記)



介護保険の問題を落語で

「うちのおじいちゃん、介護保険」が、憲法認定調査員さんの前ではええカッコして、なんでも出来ませう!言うてん」 「介護の人手不足やからこれからはAIロボット介護や。オムツガサレ、椅子を運び込むの、追われる盛況となった。落語を語った同会に所属する菊地真千子さんは高座名「都亭アロハ」として活躍している。訪問介護事業所の責任者として、またヘルパーとして25年間働き、1年半前には実母を自宅で看取った。その経験に裏打ちされた創作落語は分かつた。

門永三枝子

地域ユニオン あちこちあれこれ

何年も続く労働運動の後退は、労働組合のない職場で働く人々を真っ先に襲っている。

この間の、ユニオンに駆け込んでくる相談者に対応して、しつこく痛感している。

また、労働組合に対する経営者側の姿勢も人権無視でより強圧的になってきている。

①パワハラ問題で、これまで10回の団体交渉を重ねてきても、第1回の回答の域を超えない現状

「この案件は、本人が裁

をする若手経営者。さらには、団交を拒否する会社を訪問すると、「従業員が恐怖に怯えて仕事ができない!」「通所する子どもたちに(ユニオンが)

該者に対してヒアリングと言いつつ、高圧的な尋問形式で臨む会社側弁護士と、張本人を出席させず、その弁護士に丸投げする会社。

運動、組織、財政(物販)、若手活動家づくり、共闘課題などについて、中長期的な展望を持つことが今、喫緊の課題だと

要だと思っ。個別バラバラな対応で資本に立ち向かっていても、結果は分かっている。県内の地域ユニオンが一致した諸行動を展開

統一した反撃に向け交流強化を

最近の事例の一端を紹介したが、どのユニオンでも事情は同じだと思

今年1月に開催されたひょうごユニオンの拡大運営委員会はそうした課題への取り組みの第一歩

だったが、継続した議論と取り組みが必要

「第一歩ではないか。そう遠くない時期に、尋問が行われるが、提訴している仲間のために会社の圧力を跳ね除けて証言台に立つ人々がいる。

われわれは全力で傍聴支援を行っていくが、その際の協力を強くお願いしたい。

大野克美(ユニオンあしや副委員長)



いちのせ剛さん

来年の尼崎市議選につき徳昭議員からバトン

尼崎市議選へ 100人を超える支持者が参加 いちのせ剛キックオフ集会



地元の後援会の人々や支援の労働組合の仲間の参加などで会場は満杯に=8月25日、尼崎市

集会では、激励のため駆けつけてくれた松本眞尼崎市長、丸尾まき県議員から力強いメッセージが送られた。

いちのせ剛さんは主要政策として、①インクル

「ゆずり・たかり」扱い

判を起していることも反映しているという事情もある。

②正当な要求をしても

③初めての団交で、当

を受け継いで挑戦するいちのせ剛さんの後援会が主催する「いちのせ剛キックオフ集会」が8月25日、尼崎市のトレビエ

ーシブ教育の推進、②学校給食の無料化とオーガニック給食の実現、③地域コミュニティの活性化などを掲げ、自身もそれらの運動に携わる一員として活動している。

集会では、そうした活動を共にしている仲間から活動の報告とともに、それらの諸政策が尼崎市

に反映することへの期待、そのためにもいちのせ剛を勝たせようという熱い激励の発言などが相次いだ。

職場の仲間や友人たち

冒頭、石上委員長は、「権田工業分会の長年にわたる闘いは、最高裁の不受理によって会社の不当労働行為が確定した。

からも暖かい励ましを受けて、いちのせ剛さんを推すことができる。ぜひ、

「権田工業分会の長年にわたる闘いは、最高裁の不受理によって会社の不当労働行為が確定した。

長い闘いとなり会社に組合員は残っていないが、そのうちの一人が今もユニオンで活動を続けている。先日、社長から謝罪文を手渡されたが、社長の態度からは反省の色は見えない。こういう経営者を許す訳にはいかない」

「戦雲(いくさぐも)」明石上映会
◎10月6日(日) ①午前10時②午後1時30分の2回◎明石市立勤労福祉会館・多目的ホール◎前売り1000円、当日1200円、学生・障がい者500円◎主催「戦雲」上映明石実行委員会

長期の闘争の軌跡も回顧

神戸ワーカーズユニオンが定期大会

神戸ワーカーズユニオン(石上敬三委員長)の第38回定期大会が8月25日、兵庫県民会館で開かれた。

冒頭、石上委員長は、「権田工業分会の長年にわたる闘いは、最高裁の不受理によって会社の不当労働行為が確定した。

長い闘いとなり会社に組合員は残っていないが、そのうちの一人が今もユニオンで活動を続けている。先日、社長から謝罪文を手渡されたが、社長の態度からは反省の色は見えない。こういう経営者を許す訳にはいかない」

質疑討論の前には、権田工業分会の闘争の軌跡を資料や写真集を使いながら振り返った。

その後、ひょうごユニオンをはじめ県内の地域ユニオンから来賓あいさつがあり、木村文貴子書記長から1年間の活動総括と会計報告、24年度活動方針案と予算案の報告と提案があった。

質疑討論の前には、権田工業分会の闘争の軌跡を資料や写真集を使いながら振り返った。

その後、ひょうごユニオンをはじめ県内の地域ユニオンから来賓あいさつがあり、木村文貴子書記長から1年間の活動総括と会計報告、24年度活動方針案と予算案の報告と提案があった。

質疑討論の前には、権田工業分会の闘争の軌跡を資料や写真集を使いながら振り返った。

お米について、お知らせとお願い



でかんしょ米(小多田屋米穀店)

8月から新米

ささや米(耕しや/阪東農園)

9月から新米

※いずれも、価格改訂は9月から

- 残暑の中に、赤とんぼの姿を見るようになりました。今年も新米の季節を迎えています。
- 連日、テレビのニュースでも「店に米がない!」と伝えられています。減反政策や後継者不足で耕作をやめる農家の増加など、生産量の減少が根底にあることに加え、インバウンド需要やおにぎりブーム、日向灘沖地震をきっかけにした備蓄への動きなど、2023年産の在庫が急激に減少しています。「米屋に米がない」というニュースによって、かつてのトイレットペーパーがなくなると買いに走ったような事態も起きて、さらに市場価格高騰につながっているようです。
- ぴいぶるでも8月配達では、注文の一部をお断りしなければならぬ事態もありましたが、でかんしょ米は8月分から、ささや米は9月分から新米をお届けします。価格の改定は9月分からとさせていただきます。米の価格は現在、日々動いておりますが、基準になるJAの1俵当たり単価が明らかになり次第、改定額を決定致します。何卒ご理解いただきますようお願い致します。

(有)ぴいぶる
電話/ファックス 078(531)0135



おんなの目

大学院を終えても、大学で講師や准教授の仕事がない。10年ほど前から平和マップに関わってきた大学講師の方から、5月に「パワハラで仕事を辞めた」と相談があった。それまで働いていた大学が日本語教育と韓国語などのコマ数減で雇い止めになる、と仕事を探していたが、4月から外国語と日本語教育の講師俸を得て落ち着いていた。しかし、今回はどうしても同僚のパワハラがあった。しかも、その同僚は精神疾患で、職への不安も大きかったようだ。大学の労働組合は間に入ったが、手が打てなかったという。相談中に「7月から運よく別の研究所で仕事に就いた」というので、ほっとした。8月も、「日本語の実態調査、資料整理」で休みが取れず、神戸には行けないと彼女は嘆くが、とにかく仕事があったよかったです。

大学院を終えても…

月収で3年目。親にも時々応援をもらっていた。彼が今年で雇い止めと言われたところから始まる。「古事記」の面白さが書かれていて、夢を持って研究を始めた先輩、同級生と主人公。夢破れホームレス状態になって、あこがれの『古事記』を抱きながら比婆山で亡くなった先輩、レンタルフレンドという人材派遣会社に入る。「トランクルームに住む」という状況も書かれていた。就職氷河期に職につけず、苛立ちからSNSを使って人を攻撃するという人の話もあった。一方で、大学から聞かされてくる文科省の無策への悲鳴、理念もなく変えられる大学施策、国立大教授であっても、「予算が取れなくてその研究には十分関与しない」と嘆かれたり、大学の学部再編に振り回され、学生は教員資格も取れなくされている、とほやかれたりする。小中高校でも同じだが、若い教員の正規採用は厳しい。博士課程を修了しても、研究実績と論文評価、教授の支援と運よく枠があかないと就職できないという。文系よりは理系が有利かと思ったが、企業への就職は少い枠があるが、大学に残るのは大変という。空襲・戦災を記録する運動にとっては、研究者の存在は欠かせない。しかし、資料館や図書館、博物館などの学芸員の仕事は、ほとんどが5年契約や会計年度任用職員で、賃金が低く、待遇も悪い。近代史・現代史専門の大学の教員も決して多くない。長年取り組んでくださった大学教員の方々の後が育ってない。今、原爆模擬爆弾の調査に取り組んでいる大学院生も、何とか継続して大学に残ってほしいと願っている。(小城智子)

『日中戦争への旅 加害の歴史・被害の歴史』 宮内陽子著／合同出版／1600円＋税

本書にあるように「神戸・南京をむすぶ会」(中国では、意訳した「神戸南京心連心会」の名称で通っている)が発足したのが1997年。前年に神戸で開催された丸木位里・俊とニューヨークの中国人画家たちが描いた南京1937絵画展「がきっかけだった。絵画展のスタッフを中心に、「一度は南京に行きたい」とツアアのために「むすぶ会」が発足し、その年の8月、はじめて南京を訪問したのだ。

日本軍が中国に残した傷跡を辿る

意外な苦戦を強いられ、日本軍もまた多くの犠牲を出す。現地派遣軍は、独断で当時の中華民国の首都であった南京攻略戦を始める。この上海から南京への進軍途中、また12月13日の南京城陥落後の城内掃蕩作戦などで、南京は30万人とも40万人ともいわれる市民(捕虜も含む)が日本軍による虐殺に会う(虐殺の犠牲者数については日本では「異論」もあるが、少なくとも日本政府は「20万以上」とする東京裁判の判決を受け入れている。「南京」とは、その南京大虐殺の謂いである。本書は、会の主目的である南京と第15次訪中団(2011年)以降の海南島、香港、台湾、無錫・上海、広州、雲南、徐州・白馬荘、岳陽・廠舎(しょうごう)・常德・長沙、桂林のフィールドワークを通し、著者の宮内陽子

さんが、「日本の侵略、植民地支配の中で、人々がどのように生き、死んでいったのか、歩き、出会い、立ち止まり、感じ、考えたこと」をリアルに伝えるものである。まず南京。例年8月15日、江東門の南京大屠殺遇難同胞記念館で「国際平和集会」と銘打った追悼集会が行われる。会はこれに参加し、犠牲者を追悼し南京虐殺に思いを馳せ、記念館を見学する。そして幸存者からは経験した辛い話を聴く。宮内さんによる短いまとめだが、幸存者の思いがひしひしと伝わってくる。また記念館そのものも、じつはよく知られた当時の虐殺現場の跡。遺骨館など館内の展示についての紹介はあらためてそのことを思い起こさせる。また旧南京城外外はいたるところに虐殺の痕跡がある。1985年、その場所に一斉に追悼の記念碑が建った。揚子江沿いの燕子磯など、会のフィールドワークはその碑巡りをし、利濟巷慰安所旧址陳列

ラストマイル

人気の出たテレビドラマを映画化して観客を動員する手法は、これまで何度となく繰り返されてきた。テレビよりも製作費を増やし、お金を払って見に来た観客を満足させてきた。この映画は、テレビドラマの「アンナチュラル」と「MIU404」を手掛けた3人組が、脚本、監督、製作と

同じタッグを組んで作った作品である。ただこれまでのものと違うのは、主人公は全く別のキャラクター、別の俳優であり、テレビに登場する人気キャラクターは、事件の捜査に絡んでくる役どころとなっている。筆者はどちらのテレビドラマも見ていなかった。なので何とも言えないが、ファンにとっては、「出た、出た」といった感じの見方になるだろう。したがって俳優陣は贅沢な面々となっている。事件は、宅配された荷物がいきなり爆発すると



ころから始まる。爆発したのは世界的なショッピングサイト「DAILY FAST」が出荷した商品だった。関東配送センターの所長として急ぎょ赴任してきた船渡エレナ(満島ひかり)は、マネージャーの梨本孔(岡田将生)と共にその対応に追われることになる。その後、次々とDAILY FASTの宅配物が爆発する事件が起きていく。いったい誰が何の目的で、どうやって爆発物を仕掛けたのか、その謎が次第に明らかになっていく。映画の舞台として頻繁に登場するのは、巨大な建物の中でベルトコンベヤーに載って段ボール箱

が整然と運ばれていくシーンである。すべてを管理する船渡と梨本の視線は、それを上から見下ろして、その風景はまるでコンビナートか、はたまた人体を構成する血管のようだ。多くの人が働いているはずだが、そこには人の姿が見えない。このシーンが象徴する。題名の「ラストマイル」とは、この最後の個人宅への配達を指す。運送料を安く買いたたかれ1個何十円という契約で荷物

シネマランド

巨大物流センターを舞台にしたサス・ペンス

監督 川原あゆ子 / 2024年 / 日本 / 128分